

太宰府市俳句ポスト第百回入選者

(平成三十年八月八日〜平成三十年十一月六日)

選者 阿比留 初見

入選句

秋風にハングル文字の絵馬も揺れ	(太宰府市)	土師 累徳
秋晴に天神さまを待つ牛車	(小郡市)	斉田 日奈江
ほろ酔の足の止まりし今日の月	(太宰府市)	佐藤 学
秋暑し動くものなき神の池	(福津市)	柴田 佳津子
額づけば風爽やかに国分寺	(北九州市)	元田 品子
親しげに飛んで里曲の赤とんぼ	(太宰府市)	榎原 瞳
子のみくじ読んで聞かせて七五三	(福岡市)	白井 道義
花びらの薄さ震はせ白芙蓉	(太宰府市)	白石 照子
秋の句を一句授かる雨宿り	(筑紫野市)	中川 壽朗
白粉花や離れに暮す老夫婦	(太宰府市)	脇山 郡司
末枯れて風の野となる都府楼址	(太宰府市)	川路 泰子
母子堂に深き祈りや秋の燭	(福岡市)	河野 京子
裾端折りくぐる楼門菊日和	(福岡市)	神野 祐美
秋立ちぬ私みつけに太宰府へ	(大野城市)	高木 美智代
朝露の耀ふ芝の礎石原	(太宰府市)	中島 祝乃
だざいふで台風の中うしなでる	(東京都)	木口 紗耶
夏休み宿題いやとはいわれぬ	(千葉県)	高木 大陸
秋の宮家族のことをきがんする	(大野城市)	松尾 未彩
新学期日焼け比べの宮まいり	(千葉県)	小鯛 詩恩
しろを背に見果てぬ夢ぞ秋を待つ	(千葉県)	松崎 隼人